



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月13日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-035032

出 願 人

Applicant(s):

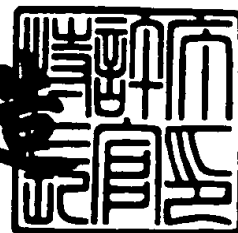
大日本印刷株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月10日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 D010RION29

【提出日】 平成13年 2月13日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A47B 37/00 505
G06F 3/033 360

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

【氏名】 石井 徹

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

【氏名】 赤井 弘幸

【特許出願人】

【識別番号】 000002897

【氏名又は名称】 大日本印刷株式会社

【代理人】

【識別番号】 100092576

【弁理士】

【氏名又は名称】 鎌田 久男

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 019323

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9006443

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報端末テーブル及び情報出力システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 文字及び画像情報を表示可能な表示部及び入力操作を行える入力部を上面に備え、前記上面を略水平に設けた天板と、

前記天板の下方側に設けられ、記録媒体から情報を読取る媒体読取部と、
を備える情報端末テーブル。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の情報端末テーブルにおいて、
前記表示部は、前記入力部の機能も有していること、
を特徴とする情報端末テーブル。

【請求項 3】 請求項 1 又は請求項 2 に記載の情報端末テーブルにおいて、
前記表示部は、所定の操作を行うと、前記表示部に表示された像の天地を任意の
方向に向けることができること、
を特徴とする情報端末テーブル。

【請求項 4】 請求項 1 から請求項 3 までのいずれか 1 項に記載の情報端末
テーブルにおいて、
前記表示部は、操作を行わない場合には、必要最小限の表示を除き、前記表示
部以外の部分の模様、及び／又は、設置されている空間のインテリアと統一感を
有した表示を行えること、
を特徴とする情報端末テーブル。

【請求項 5】 請求項 1 から請求項 4 までのいずれか 1 項に記載の情報端末
テーブルと、
前記媒体読取部によって読取った情報を出力する出力装置と、
を備えた情報出力システムであって、
前記出力装置から出力する情報に関する操作を前記天板によって行うこと、
を特徴とする情報出力システム。

【請求項 6】 請求項 5 に記載の情報出力システムにおいて、
飲食物の注文を前記天板によって行うことができること、
を特徴とする情報出力システム。

【請求項 7】 請求項 6 に記載の情報出力システムにおいて、
前記出力装置からの出力に掛かる料金、及び、前記飲食物の注文に掛かる料金を管理する料金管理部を備えること、
を特徴とする情報出力システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、媒体から情報の読取りを行うことができる情報端末テーブルと、この情報端末テーブルを利用した情報出力システムに関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、その場で利用者の顔写真を撮影して、その画像を小型のシールに印刷するいわゆる写真シールプリント機が街頭やゲームセンタ等に設置されている。従来の写真シールプリント機には、利用者がデジタルカメラ等で撮影した画像を含む記録媒体を持参して、この記録媒体から画像を読取り、印刷することができるものがあった。

また、利用者がデジタルカメラ等で撮影した画像を記録媒体に記録し、この記録媒体を持参して、この記録媒体から画像を読取り、上記写真シールプリント機よりも大画面・高画質の写真を出力する情報出力機が店頭に設置されている。

【 0 0 0 3 】

図 4 は、従来の情報出力機の一例を示す図である。

従来の情報出力機 1 0 0 は、表示部 1 0 1，媒体読取部 1 0 2，カメラ部 1 0 3，入力部 1 0 4，写真取出部 1 0 5 等を有している。

媒体読取部 1 0 2 は、例えば、プリントされた写真等から画像を読取るフォトスキャナ 1 0 2 a，ネガフィルムから画像を読取るフィルムスキャナ 1 0 2 b，P C カードやコンパクトフラッシュカード（C F）から画像データを読取るカードリーダー 1 0 2 c 等を有しており、この媒体読取部 1 0 2 又はカメラ部 1 0 3 から得た画像データを表示部 1 0 1 に表示し、入力部 1 0 4 によって出力形態等を指定して、図示しない内蔵した印刷装置から写真を写真取出部 1 0 5 へ出力する

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、前述した従来の情報出力機 1 0 0 は、店頭等において立ち姿勢で操作を行うので、例えば年賀状等を大量に印刷したい場合、出力に長時間を要するために時間を持て余したり、疲れる等の問題があった。

また、写真の周りに飾りのフレームを付して出力するフレームプリントを行う場合や、シールプリントを行う場合等には、ゆっくり時間を掛けてフレーム等の選択を行いたいとの要求があり、その上、選択したフレームと画像との合成位置の調整等の細かい作業が発生することが多く、店頭等での立ち姿勢での操作は、操作しにくく、疲れる等の問題があった。

更に、店頭では、手荷物等の置き場所が確保されておらず、足下に置く等して作業を行うことになり、落ち着いて操作を行うことができないという問題があった。

【 0 0 0 5 】

本発明の課題は、操作しやすく、長時間落ち着いて楽に操作を行うことができる情報端末テーブル及び情報出力システムを提供することである。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、以下のような解決手段により、前記課題を解決する。なお、理解を容易にするために、本発明の実施形態に対応する符号を付して説明するが、これに限定されるものではない。すなわち、請求項 1 の発明は、文字及び画像情報を表示可能な表示部（1 1）及び入力操作を行える入力部（1 1）を上面に備え、前記上面を略水平に設けた天板（1 3）と、前記天板の下方側に設けられ、記録媒体から情報を読取る媒体読取部（1 2）と、を備える情報端末テーブル（1 0）である。

【 0 0 0 7 】

請求項 2 の発明は、請求項 1 に記載の情報端末テーブル（1 0）において、前記表示部（1 1）は、前記入力部の機能も有していること、を特徴とする情報端

末テーブルである。

【0008】

請求項3の発明は、請求項1又は請求項2に記載の情報端末テーブル(10)において、前記表示部(11)は、所定の操作を行うと、前記表示部に表示された像の天地を任意の方向に向けることができること、を特徴とする情報端末テーブルである。

【0009】

請求項4の発明は、請求項1から請求項3までのいずれか1項に記載の情報端末テーブル(10)において、前記表示部(11)は、操作を行わない場合には、必要最小限の表示(11a, 11b)を除き、前記表示部以外の部分の模様、及び／又は、設置されている空間のインテリアと統一感を有した表示を行えること、を特徴とする情報端末テーブルである。

【0010】

請求項5の発明は、請求項1から請求項4までのいずれか1項に記載の情報端末テーブル(10)と、前記媒体読取部によって読取った情報を出力する出力装置(20, 100)と、を備えた情報出力システムであって、前記出力装置から出力する情報に関する操作を前記天板(13)によって行うこと、を特徴とする情報出力システムである。

【0011】

請求項6の発明は、請求項5に記載の情報出力システムにおいて、飲食物の注文を前記天板(13)によって行うことができること、を特徴とする情報出力システムである。

【0012】

請求項7の発明は、請求項6に記載の情報出力システムにおいて、前記出力装置からの出力に掛かる料金、及び、前記飲食物の注文に掛かる料金を管理する料金管理部(30)を備えること、を特徴とする情報出力システムである。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、図面等を参照しながら、本発明の実施の形態について、更に詳しく説明

する。

図1は、本発明による情報端末テーブル及び情報出力システムの実施形態を説明する図である。

本実施形態における情報出力システムは、テーブル10、プリンタ20、コンピュータ30、厨房表示部40等を備えており、喫茶店やレストラン等に設置されているシステムである。

【0014】

テーブル10は、タッチパネル部11、媒体読取部12、及びこれらを有する天板13を備えた情報端末テーブルである。尚、簡単のため図1には、テーブル10を1つだけ示したが、テーブル10は、店舗の規模に応じて複数設置されている。また、プリンタ20についても、一台を複数のテーブル10で共用してもよいし、テーブル10一台につき一台のプリンタ20を用意してもよい。

【0015】

タッチパネル部11は、本システムに関する様々な情報及び操作に必要な表示を行う表示部の機能と、触れたり押圧したりすることにより入力操作を行うことができる入力部の機能を備えた部分であり、天板13の上面に設けられている。タッチパネル部11に表示される表示内容の天地は、タッチパネル部11を操作することにより、任意の方向に変更することができる。したがって、例えばテーブルを囲んで着座した場合であっても、操作する人物が移動しなくても、どの方向からでも操作を容易に行うことができる。

【0016】

媒体読取部12は、利用者が持参する媒体から画像データ等を読取る部分であり、天板13の下面に設けられている。本実施形態で利用できる媒体は、スマートメディア（商標）、コンパクトフラッシュ（CF）カード（商標）、PCカード等の半導体メモリ、フロッピーディスク、光磁気（MO）ディスク、CD-R等の各種データ保存メディアである。

【0017】

天板13は、テーブル10の天板であって、タッチパネル部11を上面に、媒体読取部12を下面に有し、上面が略水平に設けられている。

【 0 0 1 8 】

プリンタ 2 0 は、媒体読取部 1 2 によって読取った画像データ等の情報を出力する出力装置である。本実施形態では、昇華熱転写型のプリンタを使用している。

【 0 0 1 9 】

コンピュータ 3 0 は、テーブル 1 0、プリンタ 2 0、厨房表示部 4 0 に接続され、本システムの制御を行う制御装置である。コンピュータ 3 0 には、利用者が出力を行った分の料金及び飲食費を併せて管理する料金管理部（不図示）を有している。

【 0 0 2 0 】

厨房表示部 4 0 は、店舗側が利用する表示部であり、利用者がテーブル 1 0 によって注文を行った料理を表示したり、料金管理部の情報を表示したりする。

【 0 0 2 1 】

図 2 は、天板 1 3 の上面を示す図である。尚、図 2 の表示例は、説明のため簡素化して示しており、実際には、写真画像や、より細かい指定を行うための表示が行われる。

本システムを利用せず、単にテーブルとして使用している場合には、図 2（a）に示すように、タッチパネル部 1 1 の選択領域 1 1 a、1 1 b を除く全面に木目調の表示を行う。本実施形態では、タッチパネル部 1 1 以外の部分には、木目模様が付されており、この木目模様と統一感の有る木目調の表示を行うことにより、タッチパネル部 1 1 を意識せずに、落ち着いた環境で使うことができる。

また、この図 2（a）の状態では、木目調の表示がされている領域を指等で触れたり押圧しても、入力も行われず、選択領域 1 1 a、1 1 b に行われた入力操作のみがコンピュータ 3 0 に送信される。

【 0 0 2 2 】

選択領域 1 1 a を選択すると、図 2（b）のような表示となり、飲食物の注文を行える。ここで例えば、サンドイッチを選択して注文すると、その情報が厨房表示部 4 0 に表示されると共に、料金管理部に記録される。

【 0 0 2 3 】

選択領域 1 1 b を選択すると、図 2 (c) のような表示となり、媒体読取部 1 2 から写真等の画像データを読取り、プリンタ 2 0 から写真等を出力することができる。この場合、写真をそのまま出力する他に、飾りフレームを合成して出力したり、シールを作成したり、インデックスプリントを作成する等、様々な加工を行うことができる。

【 0 0 2 4 】

本実施形態によれば、テーブルに着座した状態で情報出力システムの操作を行うことができるので、年賀状等を大量に印刷したい場合のように、出力に長時間を要する場合でも、飲食等をしながら出力を待つことができる。

また、写真の周りに飾りのフレームを付して出力するフレームプリントを行う場合や、シールプリントを行う場合であって、ゆっくり時間を掛けてフレーム等の選択したり、選択したフレームと画像との合成位置の調整等の細かい作業が発生するときでも、楽に操作を行うことができる。

更に、テーブルにいくつかの追加機能が付されているだけであり、従来の喫茶店やレストランと同様な店舗形態であるので、落ち着いて操作及び飲食を行うことができる。

【 0 0 2 5 】

(変形形態)

以上説明した実施形態に限定されることなく、種々の変形や変更が可能であって、それらも本発明の均等の範囲内である。

(1) 本実施形態において、プリンタ 2 0 及びコンピュータ 3 0 を設けた例を示したが、これに限らず、例えば、図 3 に示すように、従来の情報出力機 1 0 0 と組み合わせてもよい。

【 0 0 2 6 】

(2) 本実施形態において、媒体読取部 1 2 が読みとれる媒体は、各種データ保存メディアである例を示したが、これに限らず、例えば、ネガフィルムや、プリントされた写真も読みとれるようにしてもよい。

【 0 0 2 7 】

(3) 本実施形態において、プリンタ20によって、写真等を印刷して出力する例を示したが、これに限らず、例えば、CD-R等や半導体メモリ等に出力してもよい。

【0028】

【発明の効果】

以上詳しく説明したように、請求項1の発明によれば、表示部及び入力部を上面に備え、上面を略水平に設けた天板と、記録媒体から情報を読取る媒体読取部とを備えるので、利用者が持参した媒体から画像データ等を読込んで行う操作を着座して行うことができる。

【0029】

請求項2の発明によれば、表示部は、入力部の機能も有しているので、情報端末テーブルの天板の上面を有効に利用することができる。

【0030】

請求項3の発明によれば、表示部は、所定の操作を行うと、表示部に表示された像の天地を任意の方向に向けることができるので、着座位置によらず操作性をよくすることができる。

【0031】

請求項4の発明によれば、表示部は、操作を行わない場合には、表示部以外の部分の模様、及び／又は、設置されている空間のインテリアと統一感を有した表示を行えるので、設置場所の雰囲気損なうことなく、設置することができる。

【0032】

請求項5の発明によれば、出力装置から出力する情報に関する操作を天板によって行うので、細かい操作や長時間の待ち時間があっても、利用者の疲労を少なくすることができる。

【0033】

請求項6の発明によれば、飲食物の注文を天板によって行うことができるので、利用者にとっては、従業員を呼んだりすること無く好きなときに注文を行え、また、店舗側にとっては、少ない従業員で営業することができると共に注文漏れ等のミスを防ぐことができる。

【 0 0 3 4 】

請求項 7 の発明によれば、出力装置からの出力に掛かる料金、及び、飲食物の注文に掛かる料金を管理する料金管理部を備えるので、料金の精算を簡単にすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明による情報端末テーブル及び情報出力システムの実施形態を説明する図である。

【図 2】

天板 1 3 の上面を示す図である。

【図 3】

本実施形態の変形形態を示す図である。

【図 4】

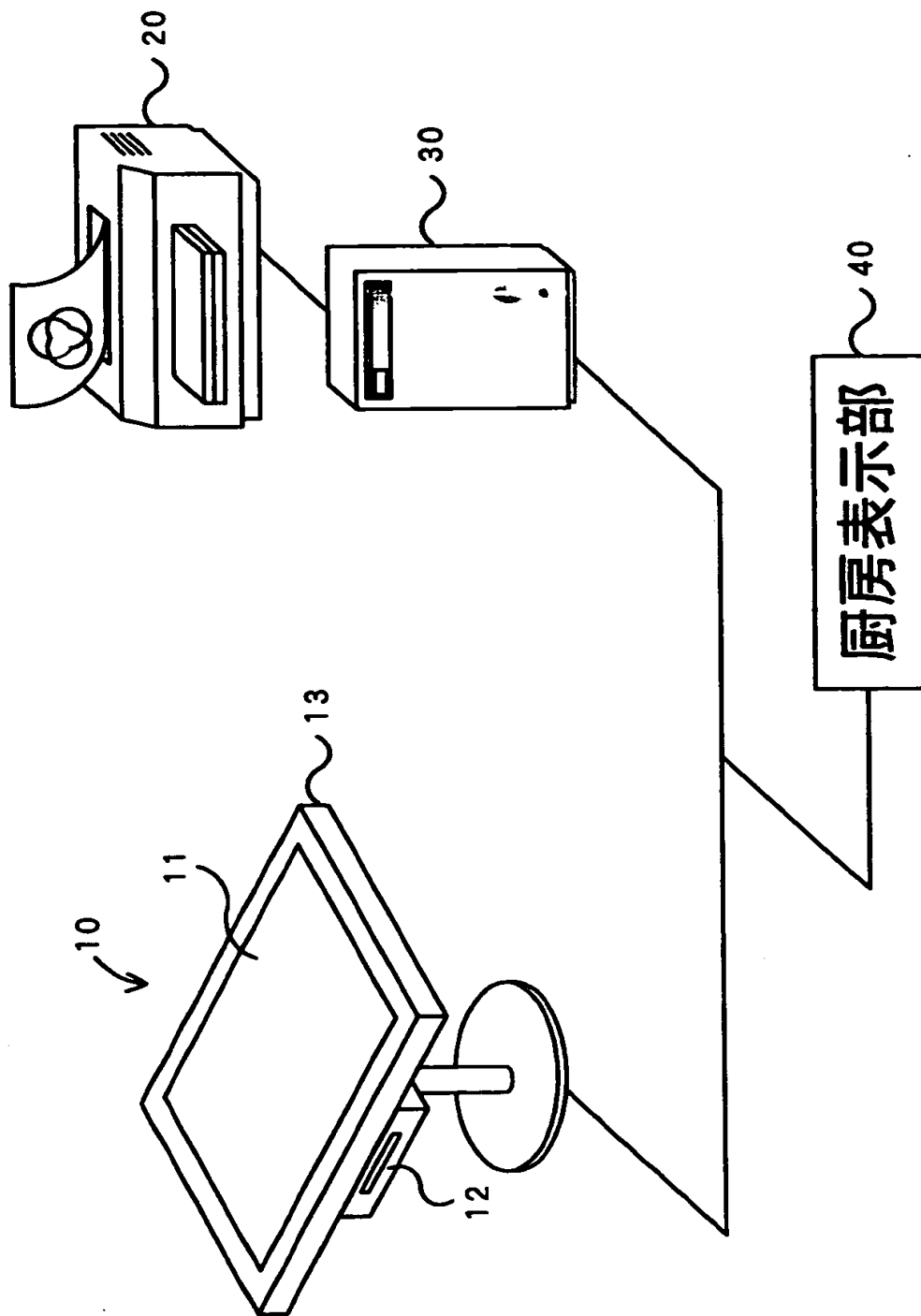
従来の情報出力機の一例を示す図である。

【符号の説明】

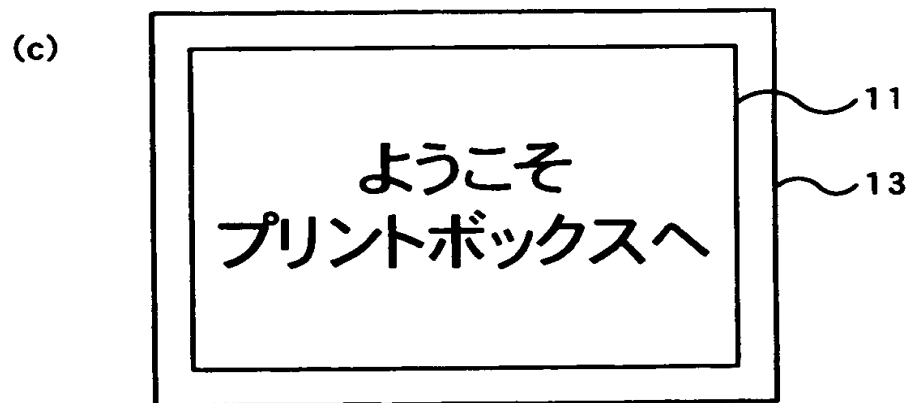
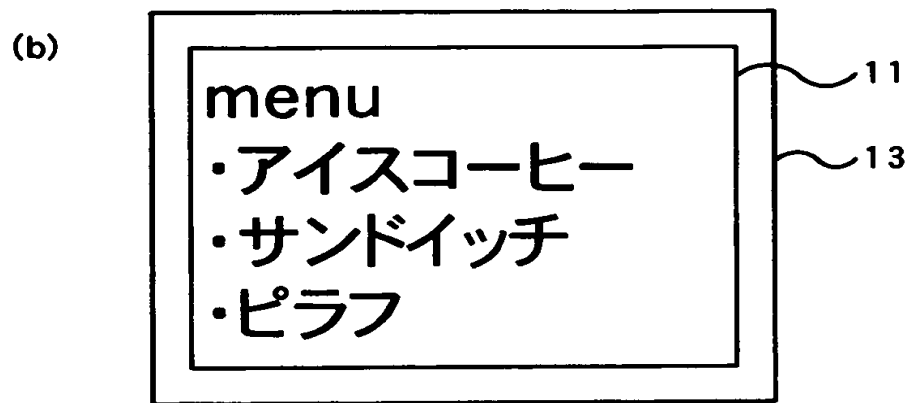
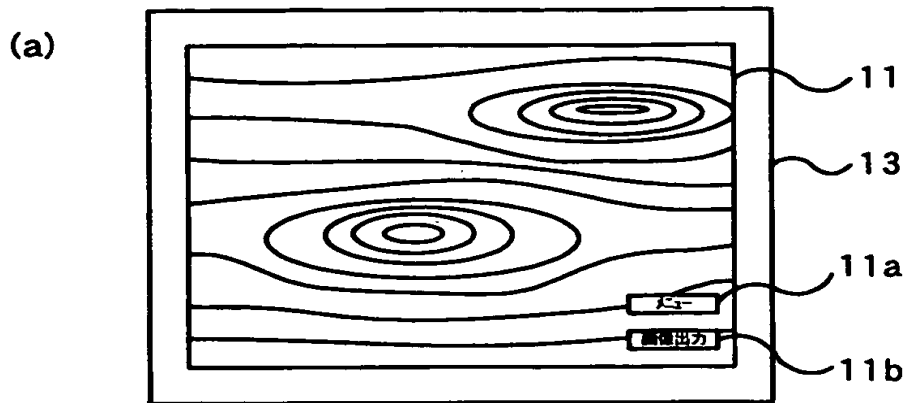
- 1 0 テーブル
- 1 1 タッチパネル部
- 1 2 媒体読取部
- 2 0 プリンタ
- 3 0 コンピュータ
- 4 0 厨房表示部

【書類名】 図面

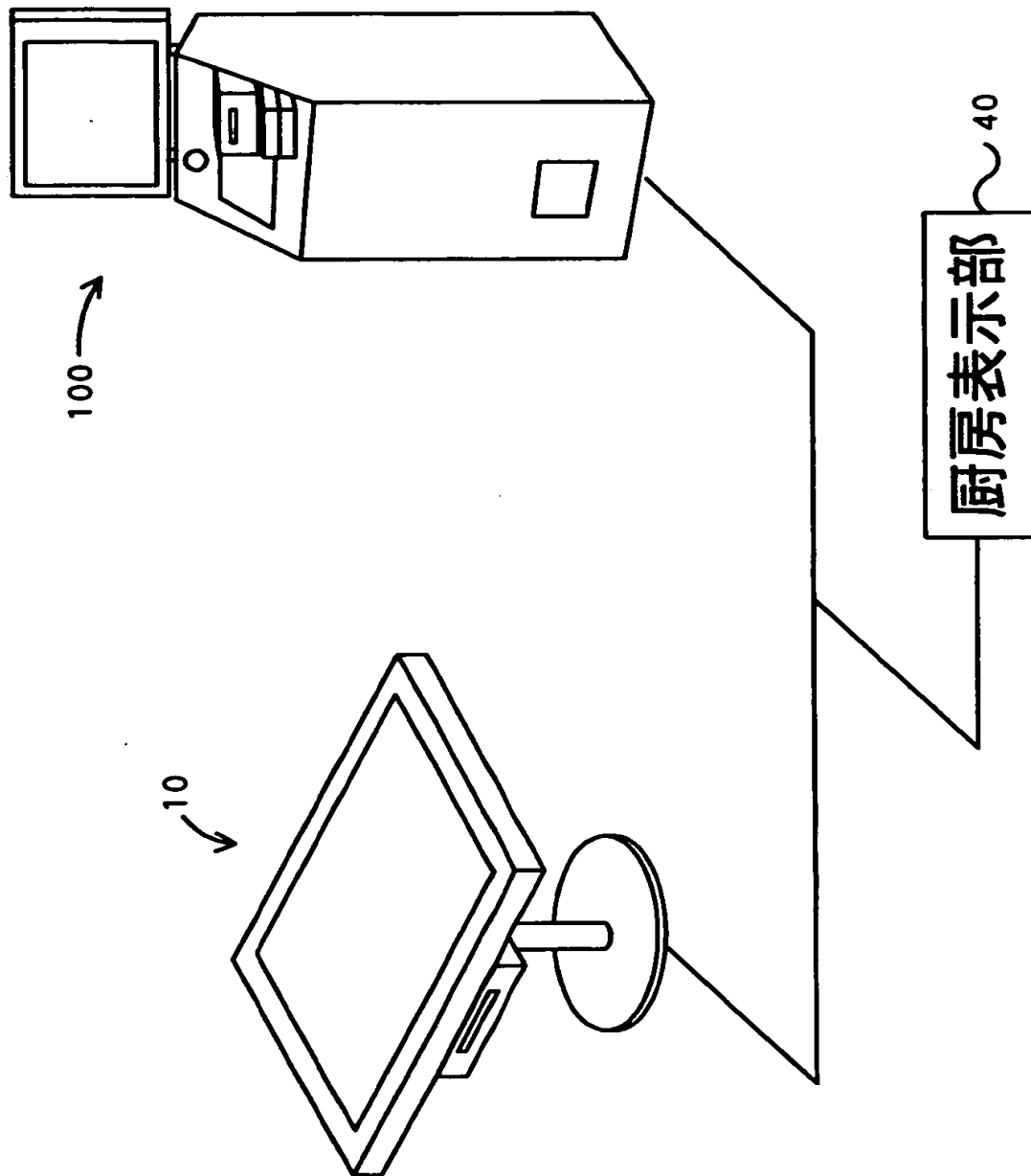
【図 1】



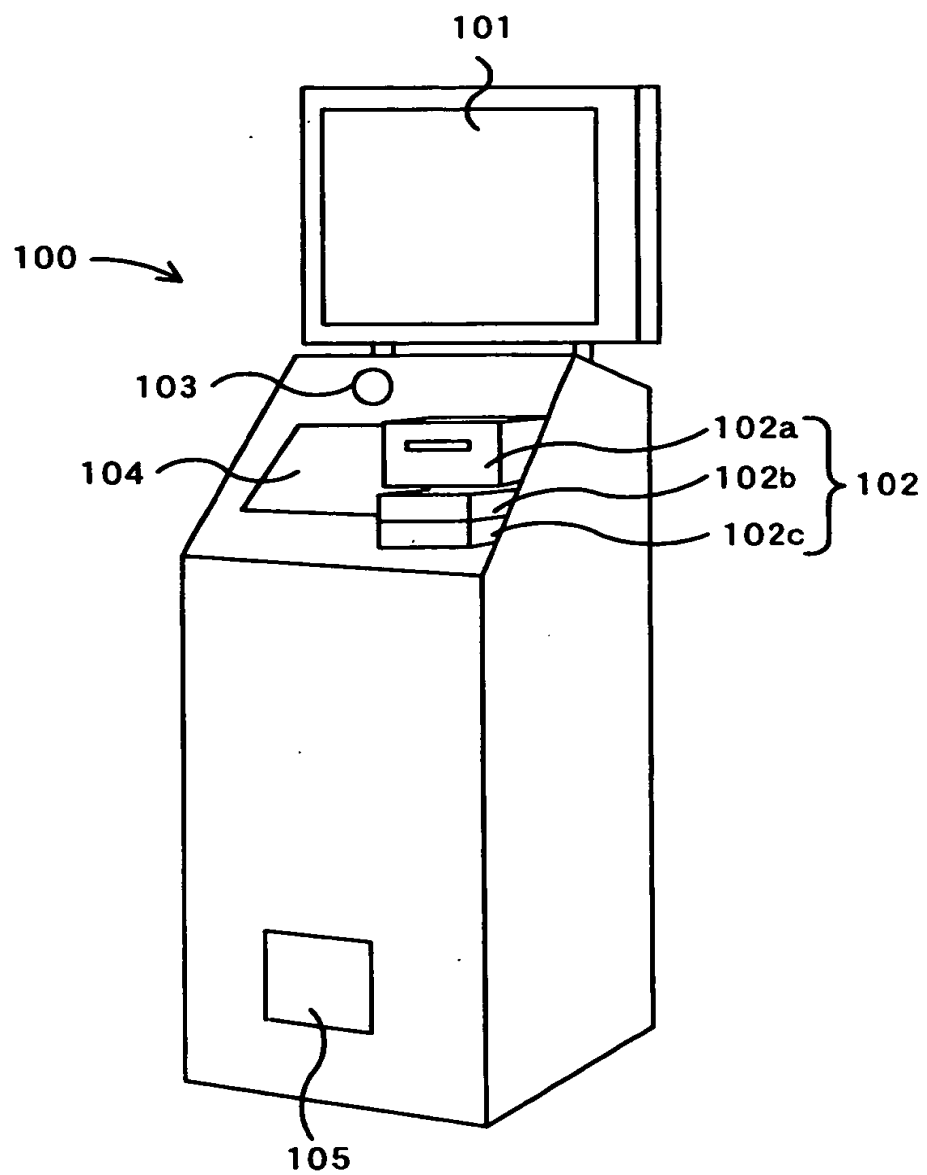
【図2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 操作しやすく、長時間落ち着いて楽に操作を行うことができる情報端末テーブル及び情報出力システムを提供する。

【解決手段】 プリンタ 2 0 による出力に関する操作と、飲食物の注文を、タッチパネル部 1 1 及び媒体読取部 1 2 を天板 1 3 に設けたテーブル 1 0 を用いて行う。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002897]

1. 変更年月日	1990年 8月27日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
氏 名	大日本印刷株式会社